

地域とともに未来をひらく

東北電力からのお知らせ

本誌は女川原子力発電所が立地している女川町、石巻市と、隣接する登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町の皆さまに、女川原子力発電所の情報を中心にお知らせしていくものです。

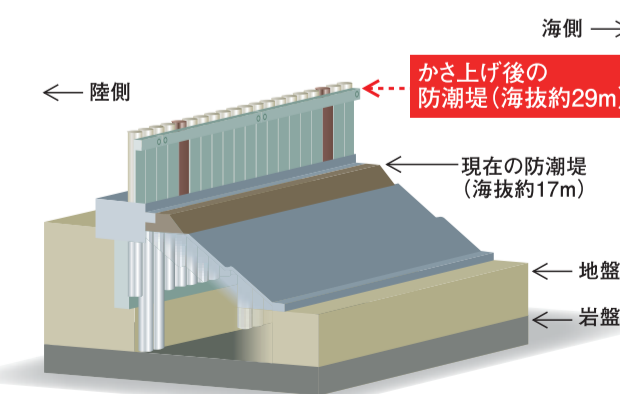
津波への備え
海拔29メートル
 女川原子力発電所の防潮堤



守り抜いた安全を
 「より安全」へ。

防潮堤のかさ上げ工事を進めています。

女川原子力発電所では、東日本大震災後の最新知見に基づき、最大の津波高さを23.1mと想定しました。その結果を踏まえ、現在の防潮堤(海拔約17m)を海拔約29mまでかさ上げする工事を進めています。



▲女川原子力発電所の防潮堤かさ上げ工事イメージ (2016年3月完成予定)



おでかけ暦

2月 February 3月 March 4月 April

※期間・会場等はすべて予定です。詳細は各市町にお問い合わせください。

- 女川町**
マリナル女川おさかな市場「あんこう祭り」
 期間:2月14日(土)~15日(日) 10:00~15:00
 会場:マリナル女川おさかな市場
- 東松島市**
第3回くらっばみんなのひな祭り
 期間:2月21日(土)~3月8日(日)
 会場:蔵しっくパーク
- 東松島市観光と物産のPR会 2015冬**
 期間:2月15日(日) 10:00~15:00
 会場:小野市民センター
- 涌谷町**
滝山桜まつり
 期間:4月下旬
 会場:滝山公園
- 石巻市**
第6回サンファン絵画コンクール
 期間:1月末~2月中旬
 会場:サンファン館
- 美里町**
すっぽこスタンプラリー
 期間:2月28日(土)まで
 会場:町内の飲食店(6店舗)
- 登米市**
米川の水かぶり
 《重要無形民俗文化財(風俗慣習)》
 期間:2月11日(水・祝)(初午の日)
 会場:東和町
- 南三陸町**
志津川湾牡蠣まつり福興市
 期間:2月22日(日) 9:30~14:30
 会場:南三陸町内
- 女川町「まちびらき」**
 期間:3月21日(土・祝)
 詳細は未定。
- 第65回東北競馬競技大会(予定)**
 期間:4月19日(日)
 会場:江合川左岸
- 美里町**
みさとプロジェクト写真展
 期間:4月上旬
 会場:美里町総合案内所
- 南三陸町**
志津川湾わかめまつり福興市
 期間:3月29日(日) 9:30~14:30
 会場:南三陸町内
- 女川町復幸祭**
 期間:3月22日(日)
 詳細は女川町観光協会(0225-54-4328)へお問い合わせください。
- 涌谷町**
食の町民まつり
 期間:2月7日(土)
 会場:わくや天平の湯
- 美里町**
みさとプロジェクト写真展
 期間:4月上旬
 会場:美里町総合案内所
- 南三陸町**
志津川湾ホタテまつり福興市
 期間:4月26日(日) 9:30~14:30
 会場:南三陸町内
- 石巻市**
マンガッタン感謝祭
 期間:3月中旬
 会場:石ノ森萬画館
- 南三陸町**
志津川湾わかめまつり福興市
 期間:3月29日(日) 9:30~14:30
 会場:南三陸町内
- 石巻市**
河南鹿嶋ばやし山車祭り
 期間:4月19日(日)
 会場:広瀬地区
- 南三陸町**
志津川湾ホタテまつり福興市
 期間:4月26日(日) 9:30~14:30
 会場:南三陸町内
- 登米市**
東北風土マラソン 2015
 期間:4月26日(日)
 会場:迫町
 メイン会場(スタート・ゴール地点):
 登米市 長沼フットピア公園
- 南三陸町**
志津川湾わかめまつり福興市
 期間:3月29日(日) 9:30~14:30
 会場:南三陸町内
- 登米市**
米山チューリップまつり
 期間:4月下旬~5月上旬
 会場:米山町(道の駅米山)

各事業所の取り組み 2014

東北電力サッカー教室を開催

10月/石巻営業所

当社は、「地域社会との共栄」を経営理念の一つとして掲げ、地域の未来を担う子どもたちが、その個性や才能をのびのびと伸ばすことができる環境づくりを応援する次世代支援プロジェクト「放課後ひろば」に取り組んでいます。

本取り組みの一環として、10月に石巻営業所管内で、仙台市を本拠地として活躍するベガルタ仙台の選手・コーチを講師として招き、「東北電力サッカー教室」を開催しました。子どもたちはプロの選手とのプレーを楽しんでいました。



トピックス

電気のはなし

ちょっとした工夫で大きな効果

今回はこたつについて紹介します。ちょっと工夫して使うことで消費電力量が少なくなり、電気代の節約につながります。



こたつ

- 下敷きをしたり、厚めの布団を上掛けにしたり、温めた熱を逃がさないようにしましょう。
- 設定温度は低めに。
- 消し忘れに注意。

女川原子力PRセンターイベント情報 ~皆さまのお越しをお待ちしています~

第13回東北電力図画コンクール入賞作品が決定しました

女川原子力発電所では、未来を担う子どもたちの「想像力」と「考える力」を育み、個性や才能を伸ばすお手伝いをしたいとの思いから、毎年、小学生以下の皆さんを対象とした図画コンクールを開催しています。

13回目となる今回は「想像の海の生きものたち」をテーマに作品を募集し、4,965点の作品をお寄せいただきました。

審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞7点を含む37点の入賞作品が決定しました。

石ノ森萬画館で、入賞作品をはじめ一次審査を通過した200点の作品展を1月17日から25日まで開催しています。ぜひ子どもたちの素晴らしい作品をご覧ください。

石ノ森萬画館：石巻市中瀬2-7



最優秀賞「パズルフィッシュ」
 石巻市立石巻小学校3年 阿部 咲来さん



女川原子力PRセンター

〒986-2221
 宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田123
 TEL 0225-53-3410
 FAX 0225-53-3286

- 開館時間/9:30~16:30
- 休館日/毎月第3月曜日(祝日の場合翌日)・年末年始
- 駐車場/25台分(大型バス駐車スペース有)

※館内に飲食施設はございません。
 ※入場無料

女川原子力発電所の安全対策をホームページで詳しく紹介しています。

<http://www.tohoku-epco.co.jp>

東北電力 検索

お問い合わせはこちらまで

地域とともに未来をひらく
東北電力
 宮城支店 TEL022-225-2141

お引越・アンペア変更
 0120-175-266

停電・緊急時のお問い合わせ
 0120-175-366

その他のお問い合わせ
 0120-175-466

※お電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。 ※お問い合わせの内容によっては、担当部署からの折り返しの電話により対応させていただく場合がございます。

敷地高さは 14.8mに そう決断した 先人たちがいた

女川原子力発電所1号機の設計時(昭和40年代)、文献調査や地元の方々への聞き取り調査から津波の高さを3m程度と想定していました。しかし、専門家を含む社内委員会での「貞観津波(869年)や慶長津波(1611年)などを考えれば津波はもっと大きくなることもあるだろう」等の議論を経て、当社は敷地の高さを海拔14.8mと決定しました。



津波の高さは3m程度か。しかし、実際の津波は想定より高くなることも考えるべきだ



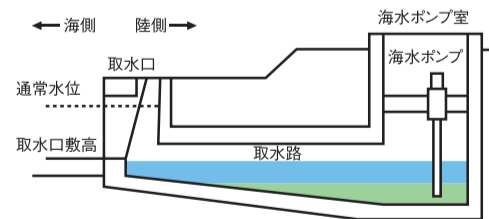
▲深さ12mのくぼみに設置した海水ポンプ

こんな所に**海水ポンプ!** 深さ12mのくぼみの中

海水ポンプは、原子炉を冷やすために欠かせないとても重要な設備です。だから、津波の影響を受けやすい港湾部ではなく、原子炉建屋と同じ敷地の高さ(14.8m)を掘り下げた所に設置しました。

引き波までも考えていた 空白の時間に約40分の備え

津波の引き波時は海底が見えてしまうほど海面が低くなることがあります。そのような時にでも原子炉や使用済燃料プールを冷却する海水を確保できるように、女川原子力発電所では取水路の奥を深く掘る設計としていました。これにより海面が取水口より低くなった場合でも、取水路にたまった海水で約40分間冷却が続けられます。なお、震災時に引き波により実際に海面が取水口より低くなったのは数分間でした。



■女川原子力発電所2号機の新規制基準適合性に係る審査の状況について

2013(平成25)年12月27日に原子力規制委員会に申請した女川原子力発電所2号機の新規制基準適合性に係る審査会合については、重大事故対策や地震などの項目について、これまで19回開催されています(平成26年11月末現在)。審査会合の資料は、当社のホームページ<http://www.tohoku-epco.co.jp>をご覧ください。

なぜ、安全に停止できたのか? 震源に一番近い女川原子力発電所が

原子炉冷却用の水を十分確保できるようにしなければ!



3m→9.1m→13.6m 津波の高さの想定は最新の知見を反映

2号機の建設にあたっては、昔の津波の痕跡を調べるなどして、想定津波をそれまでの3m程度から9.1mに見直しました(昭和60年代)。2号機建設時には、敷地法面が津波で削り取られないように9.7mの高さまで防護工事を行いました。また、3号機が運転開始した平成14年には、土木学会が最新の知見を踏まえ公表した津波評価手法に基づき、13.6mと評価しましたが、敷地高さ14.8mを下回っており、あらためて津波に対する敷地の高さの安全性が確認された形になりました。



◀2号機建設時に9.7mの高さまでコンクリートで補強した敷地法面(破線例示)震災時の津波にも耐えることができた



9.7mの高さまで法面を補強すればより安全性が高まるな

積み重ねてきた**安全対策**が功を奏した

緊急時対策室などがある事務棟の耐震工事もある



「震災前に」実施していた! 約6,600カ所の耐震工事

2010(平成22)年6月までに、機器や配管をサポートで補強するなど1・2・3号機合わせて約6,600カ所の耐震工事を実施していました。また、緊急時対策室などがある事務棟の耐震工事(外壁の筋交い)も完了していました。



外壁の筋交いを設置した旧事務棟震災時には事務棟として使用していた

2011年3月11日 止める・冷やす・閉じ込めるが 確実に機能した

- 止める
設計どおり、原子炉が自動停止しました
地震発生時、1・3号機は通常運転中、2号機は原子炉起動中でしたが、大きな揺れにともない原子炉3基すべてが設計どおり自動停止しました。
- 冷やす
冷却機能が保たれました
最大約13mの津波で一部の設備に被害はありましたが、発電所の敷地高さを越えることはありませんでした。また、燃料の冷却に必要な電源は外部電源(送電線)1回線が確保されていたほか、建屋内の非常用ディーゼル発電機も使用可能な状態でした。
- 閉じ込める
放射性物質を「閉じ込める」が有効に機能しました
発電所敷地内に設置してある放射線モニターの値に異常は見られませんでした。



放射線モニターの数値にも異常なし!

食料、水、毛布等を至急頼む!

地域の方々と一緒に震災を乗り越えました

津波のあと被災した地域の方々が発電所に避難されてきました。震災翌日に仙台の本店からヘリコプターで水や食料、毛布などを運び込み、避難されてきた方々の対応にあたりました。3月14日には最大364名の方々が身を寄せ、ともに励まし合いながら震災を乗り越えました。体育館での避難生活は最長で6月までの約3ヵ月間に及びました。



※イラストはイメージです。

女川原子力発電所は、地域の皆さまの安心につながるよう、これからもさらなる安全性向上に取り組んでまいります。